

帯広病院 21-4111
 柳町医院 30-3111
 白樺医院 38-3500
 ケアセンター白樺 41-1165
 白樺在宅総合センター 41-1167

十勝勤医協 友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会

帯広市西9条南11丁目1番地

0155-21-4718

発行責任者 今野 光昭

 URL: <http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp>
 E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

第18回 友の会世話人 交流会

安心して住みつつづけられる まちづくりをめざして



▲アコーディオンの伴奏で参加者全員による合唱

全体会・講演

第18回友の会世話人交流会は、「安心して住みつつづけられるまちづくり」をめざして、「学びと交流そして日々の疲れをいやす場」を目的に開催されました。

講演は、「獄中メモは問うく作文教育が罪にされた時代」と題し、佐竹直子氏（北海道新聞社釧路支社報道部記者）より話されました。参加者からは悲しい事件への怒りと嘆き、取材を進め真実を明らかにした佐竹氏への称賛の声が聴かれ、講演後は会場が大きな拍手に包まれました。また、講演後の書籍販売とサイン会には、多くの方が詰めかけました。

（2面に講演要旨掲載）

1月20日（土）から21日（日）、第18回十勝勤医協友の会世話人交流会（山本鉄雄実行委員長）が十勝川温泉ホテル大平原で開催され、全体で193名（世話人155名・職員38名）が参加しました。記念講演や生き生き交流、夕食交流会などの企画を通して交流を深めました。

生き生き楽しく交流

8種類9つの会場に分かれ、「笑いヨガ」「介護予防体操」「ふまねつと初級」「ふまねつと中級」「認知症予防」「うたごえ」「麻雀」「囲碁」「将棋」の各企画を楽しみました。



▲楽しくふまねつと体験



▲笑いヨガでリフレッシュ



▲バーを会場にみんなで合唱



▲真剣勝負を楽しむ参加者



▲介護予防を体操で学ぶ



▲認知症予防についての講義

夕食交流会

夕食交流会では、深町理事長のあいさつに始まり、足寄友の会による南京玉すだれ、岡本顕氏の腹話術、上士幌友の会の劇、事務局による十勝の地名クイズ、看護師長室によるパフォーマンスが披露され大いに盛り上がりました。最後に参加者全員で手をつないで合唱し、大盛況のうちに閉会しました。



▲芸達者が熱演 上士幌友の会の劇



▲職員も参加した足寄友の会による南京玉すだれ

シリーズ

憲法があぶない

気づいた者から声をあげよう

「音楽は生活に無くてはならないものだ」と、いちいち考えながら暮らしている人はいないでしょう。あつてあたりまえ、いつもどこからか流れていてあたりまえで、それが無い日のことなど普段考えてもいません。コマーシャルはともかくとして、殺伐としたニュースにまでBGMです。最近近は病院の待合室にBGMを流している(帯広病院はどうか知りませんが)ところもあります。曲によって野菜も成長が進んだり糖度が高くなるし、牛は乳量が増えるし胎教にも良いとか。

横道に逸れそうなのですが、軌道修正しましょう。さて、タイトルにある「憲法」ですが、「なくてはならないもの」としては音楽よりも認識されているようです。しかし、「あぶない」という危機感が不足していませんか。うらがえせば、この憲法はともてありがたいもので、音楽とは較べられないほど大切で、強いて言えば空気のよう。日頃わたしたちの生活すべてに関わって守ってくれていることに気づかないほど寄り添ってくれているのです。

しかし、1946年11月公布、翌年5月実施のこの憲法、実施から70年を経て急速に蝕まれてきているのを感じます。長い専制政治から脱却し、国民主権平和主義を誇らしげに世界に発信した平和憲法は民法、民

講演要旨 獄中メモは問う ～作文教育が罪にされた時代～

北海道新聞社釧路支社 報道部記者

佐竹直子氏



北海道綴方教育連盟事件

1940年(昭和15年)

11月から翌年4月にかけて、子供たちに生活をありのまま作文に書かせる

「綴方教育」に励んでいた道内の教員らが、「貧困などの課題を与えて児童に資本主義社会の矛盾を自覚させ、階級意識を醸成した」などとして治安維持法違反容疑で逮捕された事件。逮捕者は旧内務省「特高月報」によると56人、旧文部省「思想情報」では75人。「国体(天皇制)」の変革、私有財産制度の否認が目的の結

社や行動を罰するために制定された治安維持法の適用範囲が拡大された典型的事例。12人が起訴され、11人に執行猶予付きの有罪判決が確定(1人は公判前に死亡)。作家、故三浦綾子さんの長編小説「銃口」の題材になった。

●取材に至った経過

- ① 特高月報について
- ② 文集ひなたの紹介
- ③ 治安維持法：制定に至った経過

●取材に入って

- ① 書庫での調査(獄中メモの発見までの経過)
- ② 獄中メモ現物写真紹介

(3) 獄中メモ解説に向けた苦労

- ① 研究者への協力依頼難航し独学で解説を開始
- ② 一部解説の成果と研究者からの読解協力開始
- ③ 特高警察による逮捕数(1928年～1945年)の振り返る
- ④ 逮捕されていた先生達の逮捕の理由
- ⑤ 予審調書の読解
- ⑥ 読解できていなかった調書を講演で紹介した際の会場での出会い
- ⑦ 読解し調書が改ざんされていた事実を発見
- ⑧ 根室厚床小学校で綴り方教育をしていた先生方の取材



▲話に聞き入る参加者



▲書籍販売とサイン会の様子

●「獄中メモは問う」作文教育が罪にされた時代」執筆まで

- (1) 100名近い方への取材を通じて
- (2) 文集(作文)内容のすば

らしさそれを指導した先生たちと生徒の関係性に改めて感動の経過と内容

地域医療研修報告会

12月28日(木)高柳瞬医師より、十勝での地域医療研修報告を行いました。各事業所での研修報告では、居宅事業所での訪問に同行し、患者利用者さんの生活の場を目的の場に行き、さらにリハビリでの研修では患者さんの実際の状況を把握できることが大きかったこと、また病棟での入院患者さんとの関わりから、褥瘡への対応について学習ができた等、多くの学びがあったとの感想が話されました。共同組織活動では、音更東友の会でのそば打ち体験、大樹友の会では、町立病院見学や牧場見学、広尾町の障害者施設の見学と施設職員や友の会との意見交流等を通じ、多くを学ぶことが出来たと



【医師研修委員会事務局】

話されていきました。今回の地域医療研修を通して、他職種との連携に医師としてどう関わったら良いのか、また地方の医師不足と人材確保の困難さの实情を知れたこと、さらに臨床場面での高齢者とのかわり方等、多くの学びを得ることが出来た研修であったことが報告されました。

【まぐべつ友の会 森田 浩】

看護師奮闘記

帯広市気づきネットワーク会議に参加して…



「帯広市気づきネットワーク」は、高齢者や障害者の方等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていけるように、地域の見守り体制の強化に向けて、様々な事業所や団体等との連携を図るネットワークです。

平成24年11月8日に発足し、十勝勤医協帯広病院、白樺医院、友の会連絡協議会も加入しています。

平成29年度の気づきネットワーク会議が昨年11月に行われ参加してきました。

加入協力機関も発足当初27団体から現在は52団体に増え、各団体の取り組みや地域の実情について意見交換しました。

気づきネットワークも発足から5年が経過し、通報・相談件数が年々増加し、多くの方の支援に結びつけることができています。

通報・相談内容は、認知症・精神について、高齢者の虐待相談・通報、安否確認に係る通報・相談、孤独(立)死、施設や入院・病院の相談などで、特に認知症・精神についての相談・通報が増えているそうです。

ひとりぼっちを防ぐ思いやりの輪から合言葉に、生活に困っていること、高齢者や障害者の困りごと、家族の心配、一人暮らしの悩みなど、ひとりではなかなか解決できないことがあります。すべてをひとりではかえこまず、まずは相談してみましょう。

また十勝勤医協も友の会と連携・協力しながら、地域訪問をおこな

っています。

帯広市や他の事業所、団体、関係機関と連携し、安心して住み続けられる地域をめざし今後も活動していきたいと思います。

地域でも、「あれっ?」「おかしいな?」と思ったら相談を!

- ・郵便物や新聞が新聞受けにたまっている。
- ・家を訪問しても、閉じこもって顔を出してくれない
- ・何日も夜になっても家に明かりがつかない
- ・最近、外出している姿を見かけなくなった
- ・庭の手入れがされていなくなった、洗濯物が干されなくなった
- ・家の中から大声で怒鳴る声が聞こえる
- ・顔や腕などに不自然なあざが多くなった
- ・服装が不自然なまま外出している
- ・見慣れない人が家を出入りするようになった
- ・話をすると知り合いがなく寂しいと悩んでいた
- ・最近引っ越ししてきたが、周囲になじめていないようだ…など

「生命の危険の心配がある!」場合は通報しましょう。

- ・室内から応答があるがドアが開かない
- ・室内から異臭がする
- ・何日も洗濯物が片付けられない、電気、テレビがついたままになっている…など

連絡先は、総合相談窓口(帯広市保健福祉部内)

平日(8時45分から17時30): 電話(0155)65-4149

急を要する時(土日・祝日・夜間): 電話(0155)24-4111

新しい年を迎え、デイサービスすずらんでは、昨年に続き職員手作りのすずらん神社が登場しました。すずらん神社の神様に一礼二拍し、お賽銭箱にお賽銭を入れ、皆さんに願掛けをして頂きました。お賽銭と言っても本物のお金ではありません。金色と銀色の投げ玉を手作りし、お金に見立てました。玉を投げる前にお願いを述べ、お賽銭箱に入ると願いが叶うと信じて、「旦那の病気が早く良くなりますように」「足が良くなりますように」「元気に暮らせますように」と。入った時

すずらん

すずらん神社の神様…降臨!?

には初笑いした!と涙を流して大盛り上がり。私も最後に挑戦しましたが、しかし中々入りません。最後の金色の玉に願いを込め「今年一年も皆さんが元気にすずらんに通えますように」と投げると、なんと!見事お賽銭箱に入るといふ奇跡が起こり皆さんに喜んで頂きました。今後、利用者さんが笑顔で楽しい時間を過ごして頂けるようなレクリエーションや行事を職員一同で企画していきたいと思ひます。

【介護主任 村上あゆみ】



ケヤンカ
白樺

恒例のクリスマス会を開催

昨年12月にクリスマス会を行い、利用者さんにも参加していただき、出し物を企画しました。クリスマス定番曲「きよしこのよる」をハンドベルで披露し、ハンドベルにあわせて全員で歌いました。デイケアの行事では、いつも衣装にもこだわり、雰囲気作りも大切にしています。「銀座カンカン娘」では職員、利用者さん共にスカートを履き、手に花飾りを付けて踊りました。最後は職員だけで、

息びったり!!とはいかなかったかもしれないが、「赤鼻のトナカイ」の曲でライダダンスを披露しました。利用者さんからは「面白かった、練習したの?」等の感想が聞かれ、笑顔の溢れる、ひとときとなりました。



【副施設長 野口寿恵】

友の会連絡会「ナー」 ☎0255-321-4244

生き生き広場

お薬について 学びを深める

大正友の会

12月14日（木）「お薬とサプリメントについて」をお題に、健康相談会を開催しました。導入で世話人さんより頭の体操の後、帯広病院病棟師長の林下亜希看護師による血圧測定と、あじさい薬局の澤谷優事務員による尿検査を実施いただきました。講師は、あじさい薬局薬局長の岡山和也薬剤師に依頼しました。



たらよいか？、薬の賞味期限であるの？、家族に処方されている薬を同様の症状の時使用してもよいか？等々様々な質問が出され、それぞれに対し

てアドバイスをいただきました。当日の参加者は16名で大変有意義な時間を過ごすことが出来た相談会でした。

【大正友の会事務局】

新年総会で出足早く

東友の会

今年も例年通り出足早くと1月7日（日）に東福祉センターで新年総会をしました。1時間以上も早くから来てくれた会員さんの手伝いで手際よくオードブルや会場づくり。

友の会連絡会から真田若子事務局長さんと、池田さんが来てくれ、尿検査と血圧測定で健康チェックをしてもらいました。11時から総会を開始。今年の計画等を確認し合いました。総会時にご家族に入会を勧めてください。また、既存の世話人さんの誘いで新しい世話人さんも増えました。リングブル持参で参加してくれた人もいて、元気にスタートしました。また、今年も友の会での健康づくりを取り組んでいく事を確認しました。総会後の懇親会では、お寿



司・オードブルにお酒を堪能し、その後楽しくゲームをして仲良く1日過ごしました。

【東友の会 山口久美子】

頭の体操

次の□の中に二字熟語ができるように漢字を入れてください。□に入った漢字を組み合わせると答えになります。

出題者は村上礼二郎さん（帯広市）です。

純 □ 恋 裁 □ 合
妻 □ 情 国 □ 単 満 □ 祈
私 □ 英 力

ヒント

笑顔で優しい言葉を

答え

□□□□

（漢字でご記入ください）

応募方法

解答とお名前、住所、電話番号をハガキかメールで、左記へお送りください。

宛先

○郵送

〒080-00019

帯広市西9条南11丁目

十勝勤医協会館内

友の会ニュース編集部

○メール

soshiki@tokachi-kin-

ikyو.or.jp

賞品

抽選で10人の方に、千円分の図書カードをお送りします。

締め切り

2月20日（当日消印有効）。発表は第407号（4月号）紙上です。

【第403号の当選者】

答えは「無病息災」でした。

応募総数171通、正

解者169通の中から抽

選により、次の10人の方

が当選しました。（敬称略）

新目典子 田村正子

藤原加代子 山崎 守

渡部豊子 （帯広市）

山本政俊 （音更町）

河合恵子 （池田町）

大川トモ （足寄町）

山本正美 （大樹町）

澤田直樹 （北広島市）

あなたと民医連をつなぐ月刊誌

いつでも元気

MIN-IREN

2018 2 月号 380円

好評発売中

巻頭エッセイ／林田光弘さん
（ヒバクシャ国際署名キャンペーンリーダー）

- 守りたい9条 新しい道に挑戦を
- まちづくり 社会とつながるパン屋
- けんこう教室 アロマのある生活
- まちのチカラ 和歌山県みなべ町
- 食と健康 作りおきできるおかず

発行＝株式会社民医連 発行所＝〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター8階 電話 03(5842)5656(代表) FAX 03(5842)5657

ご購入希望の方は、下記各事務局または連絡会事務局までご連絡下さい。

各友の会連絡先

- 【音更東】菅原 一晴 ☎055-321-0995
- 【音更西】増田 浩毅 ☎055-321-0880
- 【音更南】坂本 恵子 ☎055-321-6263
- 【音更北】中嶋 晴子 ☎055-422-1999
- 【土 幌】和田 鶴三 ☎056-477-4435
- 【上士幌】山本 政俊 ☎056-477-4435
- 【新得】土山 武志 ☎056-644-4716
- 【清水】田中 けい子 ☎056-633-3056
- 【鹿 追】武田 耕次 ☎056-661-2176
- 【芽 室】梅津 美政 ☎055-622-2859
- 【中札内】西村 和正 ☎055-677-2774
- 【更 別】大津寿美香 ☎080-684-8387
- 【大 樹】有岡千恵子 ☎055-877-5218
- 【広 尾】前崎 茂 ☎055-821-4340
- 【幕 別】小林 正明 ☎055-544-5231
- 【札内東】鈴木志摩子 ☎055-544-6757
- 【札内西】岡崎節子 ☎055-561-4432
- 【忠 類】増田 武夫 ☎055-818-2607
- 【豊 頃】岩井 明 ☎055-744-2634
- 【池 田】古田 清治 ☎055-722-8610
- 【本 別】加藤 孝一 ☎056-222-4822
- 【足 寄】田利美智子 ☎056-254-0000
- 【陸 別】黒沼 明美 ☎056-277-2667
- 【東 川】加藤 みち ☎056-233-6318
- 【柏 川】加藤 昌明 ☎055-550-8484
- 【光 南】村上 やよい ☎055-558-5888
- 【鉄 南】牧野美智子 ☎057-896-6571
- 【中 央】田村力オリ ☎053-260-0733
- 【栄 川】及川 洋子 ☎090-522-3832
- 【開 西】岡本 顕 ☎090-644-6152
- 【西帯広】野坂 潤子 ☎057-272-2929
- 【西 南】麻生 恵子 ☎055-611-6113
- 【緑ヶ丘】片石 祐一 ☎055-144-4433
- 【白 樺】高宮 裕 ☎054-188-8222
- 【新 緑】千田 濱子 ☎052-144-0408
- 【柏林台】横塚恵利子 ☎041-779-0790
- 【緑 西】村上久美子 ☎053-685-2222
- 【稲田北】平 麗子 ☎048-071-2155
- 【稲田南】藤田 功 ☎048-695-1111
- 【川 西】伊沢 佐恵子 ☎060-250-0666
- 【大 正】岡山 幹男 ☎064-595-3333